第8次安城市総合計画（案）がまとまりました

市は、来年度を初年度とする8カ年の総合計画の策定を進めています。総合計画は、長期的・総合的な視点でこれからのまちづくりを進めるための指針となるものです。このたび、計画案がまとまりましたのでお知らせします。また、この案について、パブリックコメント制度により意見を募集します。

問▼企画政策課（☎〈71〉2204）

計画にはすべての施策分野に「健康」の視点を取り入れます。次の5つを基本目標としたまちづくりにより、「健幸都市」の実現を目指します。

目指す都市像

幸せつながる

「健幸」とは市民一人ひとりが身体的・精神的に健康であることに加えて、趣味や社会貢献などのさまざまな活動を通じ、日々の生活に「生きがい」や「感動」を見出し、生きていることの喜びを実感することです。自分が健康でありたい。そして、家族も健康であってほしい。この率直な願いが、↗

健幸（けんこう）都市　安城

自分や家族の「幸せ」につながると気付いた瞬間に、人々は意識や行動を変えるための一歩を踏み出すことができます。「健幸」の意識が、家族や友人、職場や地域社会に広くつながり、「幸せ」を分かち合うことへと発展することが「健幸都市」の姿です。

Kodomo

こども

子どもたちを社会で豊かに育むまち

子どもは次世代の担い手であり、人々の笑顔を生む不思議な力があります。健やかな成長には、子ども自身が生きる力を育むこと、家庭だけでなく社会全体で子どもを育てる視点が欠かせません。子どもの様子は健全な社会のバロメーターであり、その成長を温かいまなざしで支えていきます。

Kenko

健　康

生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち

高齢化社会の進行により、身体の不具合を抱える人や要介護者が増加し、また、複雑化する社会の中で心の病を抱える人も存在します。特にこれからの長寿社会において、多くの市民が自由で自立した人生を歩むために、健康寿命延伸の視点を取り入れた施策を進めます。

Kizuna

きずな

人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち

人と人とがつながるきずなや地域コミュニティの活性化は、持続可能な社会福祉の根幹です。本市にみられる三世代のきずな、地域や市民活動を通した優しいつながりを大切に後世につなげていきます。

5K

Keizai

経　済

地域の魅力、潤いと活力あふれるまち

歴史ある農業の誇り、農産物の恵みとともに、自動車産業を中心とした製造業の牽引により築いてきた豊かな経済と健全で潤いあるくらしは人々の幸福感につながります。多様な産業の創出に加え、歴史文化など地域の魅力を活かすまちづくりを目指します。

Kankyo

環　境

くらしの質を高める持続可能なまち

第7次安城市総合計画で掲げた「環境首都・安城」で培った環境への取り組みを市民とともに引き続き進め、省エネ等の技術開発が進む中、都市と田園が共生する本市にふさわしい一歩進んだまちづくりを目指します。

重点戦略

健幸都市実現のため、「健幸都市推進プロジェクト」を左記のとおり進めます。

①きっかけづくり
市民一人ひとりが自発的に健康づくりに取り組めるよう、行動意欲を高めるきっかけをつくります。

②しくみづくり
市民一人ひとりの健康づくりを後押しし、市民や地域団体、市民活動団体が健康づくりの担い手として主体的に活動できる、健康寿命を伸ばすしくみをつくります。

③まちづくり
すべての市民が、暮らしている地域におけるつながりや特性を生かし、楽しみながら自然に健康づくりに取り組めるまちをつくります。

意見募集

総合計画審議会をはじめ、本計画は、これまでまちづくりディスカッションや市民アンケートなどを実施し、市民の皆さんの意見を踏まえながら策定を進めてきました。計画案について、意見を募集します。

■計画（案）の閲覧

●**計画名**　第8次安城市総合計画（案）
●**とき**　11月1日(日)～30日(月)午前8時30分～午後5時15分(閉庁・休館日を除く)
●**ところ**　企画政策課、市政情報コーナー、文化センター、各地区公民館、中央図書館など
※市公式ウェブサイトにも掲載。

■意見の提出

●**意見を提出できる人**　次の①～③のいずれかに該当する人
①市内に在住・在勤・在学している
②市内に事業所などを有する
③市内で活動している
●**提出方法**　閲覧期間中に住所・氏名と意見を、持参か郵送(必着)・ファクス・Eメールで企画政策課（〒446－8501住所記載不要／FAX〈76〉1112／kikaku@city.anjo.aichi.jp）へ
※電話による意見提出は不可。個別に回答はしません。